

こっこめ通信 05 2014

「探 索 楽 し み」 号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

新年度もあっという間に1ヶ月が過ぎてしまいました。八丈島の4月は気温の低い日が多く、平年を下回りました。全体的に最低気温が低く、そのまま気温が上がらない日もありました。また、東寄りの風が多く吹いたのも要因のひとつかもしれません。5月は平年通りに暖かくなってほしいものです。

さて今回は、「中継地として寄ってみた」「テントウムシを探してみよう」についてのお話です。

中継地として寄ってみた

渡りの中継地として島に立ち寄り、少し羽を休める鳥がいます。毎年のようにやってくる鳥もいれば、たまたま立ち寄った鳥もいます。島での滞在時間も1日で姿が確認できなくなってしまう鳥もいれば、いつまでいるの？もう繁殖時期だろう？という鳥もいます。そしてこの春も、島を「渡りの駅」として立ち寄ったいろいろな鳥が観察されました。

ウミアイサ・カワアイサは到着後すぐに出発。ここ数年毎年訪れるホシムクドリは仲間を誘っての到着です。サンショウクイやセンダイムシクイは久しぶりに立ち寄ってくれました。他にもレギュラーメンバーのサギ軍団（コサギ・チュウサギ・チュウダイサギ・アオサギ・ゴイサギ。アマサギは少し遅れて到着予定）、カモグループ（コガモ・オナガガモ・ヒドリガモ）、シギチグループ（ムナグロ、コチドリ、メダイチドリ、**タカブシギ**）は到着済みです。

5月に入ってもまだまだ出入りはありそうです。伊豆諸島のいろいろな島の情報を聞き、きっと八丈島にも寄っていると密かに期待をしながら、スタッフは鳥探しをしています。また、いろいろと紹介できるように頑張ります！



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

テントウムシを探してみよう

テントウムシの幼虫や成虫はアブラムシやカイガラムシなどを食べる種が多くいます。これから夏に向かってアブラムシが増えてくると、いろいろなテントウムシが見られるようになってきます。そこで今月は、島で見られるテントウムシを紹介をしましょう！



島のテントウムシで一番最初に活動を始めるのは、七つの黒い星が特徴の**ナナホシテントウ⑮**。食べ物となるアブラムシがいる近くに卵を産みます。アブラムシがたくさん付くヨモギなどの近くを探すと幼虫やサナギも見つかるはず。ヒメカメノコテントウ⑧やナミテントウ⑬⑭、ダンダラテントウ⑫なども同じような環境ですぐに見つかります。背中模様はバリエーションが豊富！同じ種類のテントウムシなのに不思議ですね。

テントウムシの仲間は日本に約 180 種類。そのうち八丈島では 25 種の記録があり、大きさも 1mm 程のムクゲチビテントウから 8mm 程のナミテントウまで様々です。下の画像は島で撮影したいろいろなテントウムシです。左上のナンバーは種名、左下の●と右下のサイズはその成虫の標準の大きさです。

地面に這いつくばって、小さな世界を覗いてみてはいかがでしょうか？でも、テントウムシなどの体の硬い甲虫は、ビックリすると脚を縮めて地面に落ちてしまうので、ゆっくりと近づくのがポイントです。



八丈島で記録のあるテントウムシ

種名	学名	V	K	N	T
ムクゲチビテントウ	<i>Sukunahikona japonica</i>		○	○	
クロツヤテントウ	<i>Serangium japonicum</i>				○
セスジヒメテントウ	<i>Nephus patagiatus</i>		○		○
リュウグウヒメテントウ	<i>Nephus ryuguus</i>		○	○	
ハレヤヒメテントウ	<i>Pseudoscymnus hareja</i>		○	○	○
リュウキュウヒメテントウ	<i>Pseudoscymnus kurohime</i>			○	○
カバイロヒメテントウ	<i>Scymnus (Neopullus) fuscatus</i>		○	○	○
クロヘリヒメテントウ ③	<i>Scymnus (Neopullus) hoffmanni</i>	○		○	
カワムラヒメテントウ	<i>Scymnus kawamurai</i>		○	○	○
コクロヒメテントウ ①	<i>Scymnus posticalis</i>	○	○	○	○
キイロヒメテントウ	<i>Scymnus syoitii</i>		○		
クロスジヒメテントウ ②	<i>Scymnus nigrosuturalis</i>	○	○	○	
ナガサキクロテントウ	<i>Telsimia nagasakiensis</i>		○	○	
ヒメフタモンクロテントウ ④	<i>Cryptogonus horishanus</i>	○	○	○	
ヨツボシテントウ ⑥	<i>Phymatosternus lewisii</i>	○	○	○	○
ヒメアカホシテントウ ⑤	<i>Chilocorus kuwanae</i>	○	○		○
ベダリアテントウ ⑦	<i>Rodolia cardinalis</i>		○	○	○
ムーアシロホシテントウ ⑩	<i>Calvia (Eocaria) mui</i>	○	○	○	
アマミシロホシテントウ ⑨	<i>Calvia (Eocaria) parvinotata</i>	○			
ナナホシテントウ ⑮	<i>Coccinella septempunctata</i>	○	○		○
ナミテントウ ⑬ ⑭	<i>Harmonia axyridis</i>	○	○	○	○
ダンダラテントウ ⑫	<i>Menochilus sexmaculatus</i>	○	○	○	○
ヒメカメノコテントウ ⑧	<i>Propylea japonica</i>	○	○	○	○
キイロテントウ ⑪	<i>Illeis koebelei koebelei</i>	○	○	○	○
ニジュウヤホシテントウ ⑯	<i>Epilachna vigintioctopunctata</i>	○	○	○	○



V：八丈ビクターセンターで確認または撮影

K：川畑喜照・伊豆諸島八丈島の甲虫 VI. 神奈川虫報. 2010; (170) ;21-30.

N：日本環境動物昆虫学会・テントウムシの調べ方. 文芸出版. 2009;122-129

T：東京電力株式会社・八丈島地熱地点に係わる自然公園内環境基礎調査. 1994；IV -4. 動物，昆虫類

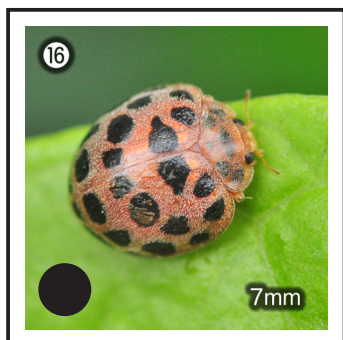
八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は4月13日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成26年第4回）参加者：沖山、黒田、金田、菊池昭、茂手木、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			35	ヌカボ	花	シダ植物		
1	アオスゲ	実	36	ノミノフスマ	花	1	イシカグマ	
2	アツバスミレ	花	37	ハキダメギク	花	2	オオイタチシダ	
3	イヌガラシ	花と実	38	ハチジョウアザミ	蕾	3	オオタニワタリ	新葉が目立つ
4	イワニガナ	花	39	ハナイバナ	花	4	オニヤブソテツ	
5	ウスベニチコグサ	蕾	40	ハナヌカススキ	花	5	スギナ	
6	ウスベニガナ	花	41	ハハコグサ	花	6	タチクラマゴケ	胞子葉
7	ウラジロチコグサ	蕾	42	ハルジオン	花	7	タチシノブ	
8	オオシマカンスゲ	実	43	ヒナギキョウ	花	8	タマシダ	
9	オオバコ	花と実	44	ヒメコバンソウ	花	9	ナチシゲシダ	
10	オオマツバウンラン	花	45	ヒメスミレ	花	10	ノキシノブ	
11	オニタビラコ	花	46	ヒメヨツバムグラ	花	11	ハチジョウカナワラビ	
12	オランダミミナグサ	花と実	47	フウトウカズラ	花	12	ハチジョウシダ	
13	カスマグサ	花	48	ヘビイチゴ	花	13	ハチジョウベニシダ	
14	カタバミ	花と実	49	マツバウンラン	花	14	ヒトツバ	
15	カラスノエンドウ	花と実	50	ミゾイチゴツナギ	花	15	ホシダ	
16	キュウリグサ	花	51	ムラサキカタバミ	花	16	ホラシノブ	
17	キランソウ	花	52	ヤエムグラ	花と実	17	マツバラン	
18	ケキツネノボタン	花と実	53	ヤブジラミ	蕾	18	マメツタ	
19	コケリンドウ	花	54	ヤマヌカボ	花	19	ミゾシダ	
20	コナスビ	花と実				20	ヤマイタチシダ	
21	コハコベ	花	木本			21	ワラビ	新葉
22	コメツブツメクサ	花	1	イヌビワ	実	今回はシダ植物21種を含む88種の植物を観察しました。咲いている草花の種類が多すぎて見落とししたものもありそうです。シチトウメジロやシジュウカラのさえずりが盛んで、キジの鳴き声も聞こえました。		
23	シチトウスミレ	花	2	エノキ	花			
24	シロバナマンテマ	花と実	3	オオシマザクラ	若い実			
25	スズメノエンドウ	花	4	カジイチゴ	花			
26	スズメノカタビラ	実	5	スダジイ	蕾			
27	スズメノヤリ	実	6	タブノキ	花			
28	セイヨウタンポポ	花と実	7	トベラ	花			
29	タチイヌノフグリ	花と実	8	ハチジョウキブシ	実			
30	タネツケバナ	花と実	9	ヒサカキ	若い実			
31	チチコグサ	花	10	ヒメユズリハ	花			
32	ツメクサ	花	11	モチノキ	若い実			
33	トキワハゼ	花	12	ヤナギイチゴ	花			
34	ヌカススキ	花	13	ヤマモモ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、害虫として知られている「ニジュウヤホシテントウ」にスポットを当ててみたいと思います。



ニジュウヤホシテントウ

Epilachna vigintioctopunctata

テントウムシ科、日本では本州(温暖地域)・四国・九州・琉球に分布。

大きさは7mm前後、黄褐色～赤褐色の体に黒い斑紋があり、ナス科植物やイモ類の害虫として知られています。島では「お豊虫」と呼ばれて、かんも（さつまいも）の害虫です。何故、お豊虫と呼ばれているかは、ビジターセンターのホームページをご覧ください。

2014 八丈ビジターセンター 5 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は 特別行事があります				1	2	3 「草木染め体験教室」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 06:30 00:56 20:19 13:22
4 「沢の小径で探鳥会」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 07:00 01:30 21:00 13:59	立夏 5 「早朝探鳥会」 「海岸で遊ぼう」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 07:33 02:08 21:47 14:40	6 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 08:12 02:59 22:47 15:29	7 09:12 04:21 23:58 16:32	8 11:13 06:21 17:49	9 01:03 07:43 13:14 19:07	10 ガイドウォーク 01:51 08:30 14:29 20:10
11 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 02:30 09:05 15:23 21:01	12 03:04 09:38 16:08 21:44	13 03:36 10:12 16:51 22:24	14 04:08 10:46 17:33 23:02	15 04:40 11:22 18:16 23:40	16 05:14 12:01 19:00	17 ガイドウォーク 05:50 00:19 19:46 12:41
18 ガイドウォーク 06:29 01:01 20:35 13:25	19 07:11 01:48 21:27 14:12	20 08:02 02:45 22:24 15:05	21 小満 09:08 03:58 23:25 16:06	22 10:48 05:28 17:18	23 00:26 06:53 12:46 18:37	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「海藻を調べよう」 01:19 07:58 14:19 19:50
25 ガイドウォーク 02:05 08:48 15:26 20:50	26 02:45 09:30 16:18 21:40	27 03:23 10:08 17:02 22:22	28 03:58 10:44 17:42 23:00	29 04:32 11:19 18:18 23:35	30 05:05 11:53 18:52	31 ガイドウォーク 05:38 00:09 19:25 12:27

イベントプログラム

GW特別行事 「バードウォッチング入門」	植物公園の中でバードウォッチングの入門編です。シチトウメジロやアカコッコが見られるといいね。 5/3～5/6 (10:00～ 約1時間半) だれでも ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名 雨天中止
GW特別行事 「体験八丈太鼓」	両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散しよう！ 5/3～5/6 (13:30～ 随時) だれでも ビジターセンター入口にて 無料 雨天中止
GW特別行事 「草木染め体験」	絹のハンカチをコブナグサで染めます。輪ゴムの絞り染めでどんな模様が出来上がるかな？ 5/3 (13:30～ 約1時間半) 小学生以上 (低学年は保護者同伴) ビジターセンターにて 参加費:800円 (材料費込み) 定員:10名
GW特別行事 「沢の小径・探鳥会」	三原川流れる沢の小径での探鳥会。伊豆諸島亜種のミソサザイやヤマガラ、コマドリを探しましょう。 5/4 (13:30～ 約2時間) 小学生以上 (低学年は保護者同伴・未就学児同伴不可) 中之郷:えこ・あぐりまーと 集合・解散 参加費:50円 定員:10名 小雨決行
GW特別行事 「早朝探鳥会」	早朝のホタル水路で、春に渡ってきた鳥たちや伊豆諸島ならではの鳥などを観察します。 5/5 (6:30～ 約1時間半) 小学生以上 (低学年は保護者同伴) 雨天中止 鴨川ホタル水路 集合・解散 参加費:50円 定員:15名
GW特別行事 「海岸で遊ぼう」	海岸を歩きながら、植物を観察したり、虫を探したり！最後はみんなで宝物を見つけましょう。 5/5 (13:30～ 約2時間) 小学生と保護者 (未就学児同伴不可) 現地 集合・解散 (当日決定、予定:ヤケンガ浜) 参加費:50円 定員:5組 雨天中止
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 5/11 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名
八丈学講座 「海藻を調べよう」	毎月行っている八丈学講座。今月は、海岸にある海藻を調べます。島にはどんな海藻があるかな？ 5/24 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 現地 集合・解散 (当日決定、予定:大潟浦) 参加費:50円 定員:15名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2014.5.1 第156号

開館時間 9:00～16:45 年中無休 (入館無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

編集後記

ムクゲチビtentouは1mmのtentouムシ。図鑑の分布域には「八丈島」の文字がしっかりと書かれています。しかし、残念ながら老眼になると見えません。悔しいので大きな虫メガネを使って探したいと思います。小さい虫は若い時に探すべきでした。(高)